



### 何でも頼れる IT コンサルタントとして志のために独立。 頼られることなく誰もが事業を成功できる世の中を目指して。

こんにちは。サポート委員会の岡崎智紀です。第10回立志財団会員ロング・インタビュー。

今回はエクサート株式会社 代表取締役の鮫島 正好（さめじま まさよし）さんです。IT 領域の専門家として「志ある人の事業を進める」志を語っていただきました。

#### 先の景色を見てもらうための IT コンサル

—まず、現在のお仕事について教えてくださいませんか？

**鮫島**：広範囲に渡って IT コンサルをやっています。WEB の制作、翻訳、プロジェクト管理、システム構築、広告…目の前のお客さんが事業を立ち上げうまく行かせるのに必要なことを全て、お客さんの中の IT 担当として動いていくというのが私の役割です。他で予算が合わなかったりするとしょうがないウチでやろうかってなる感じなので、これやっている限り儲からないです（笑）。けどその分、お客さんがうまく行った時の喜びは大きいんですよ。ただディスカウントしているわけではなくて、例えばスコープを縮める、本当にやりたい事はなんだっけという話をして、まずはこのレベルまでやろうかというところで始めたりします。今の時代、IT のことがわかんないと立ち止まっちゃうじゃないですか。お金であったり専門性であったり、進めない理由は色々あるので、まずは進んで先の違う景色を見えるようにすることがウチの役割だと思っています。どうせやるのだったら踏み出してやるのが、これ面白いねって思えるようにやってあげたい。そして進んだからには何らかの効果を実感させてあげたいです。場合によっては話をするだけで終わっちゃうケースもありますよね。それだけだと無料で終わっちゃうので悲しいんですけど（笑）。ただ、それによって前に進んで本当に結果が出ているのだったらこっちは嬉しいのです。

#### 感謝の循環を起こし、社会貢献を生み出す

—スタートアップに足踏みされている方をメインに？

**鮫島**：時間的にはそっちの方が遣っています。ただ収入は大手さんからいただいております（笑）。もちろんビジネスとしてやってはいますが、売り上げのためにやっているのとはちょっと違う感じですかね。↗

最近、スモールスタートのところもようやくお金になるようになってきました。前に進もうとしている人たちがそれなりに資金のある人たちが増えてきたという印象です。広告もドアノックもしていないので紹介がほとんどですね。ほぼタダでやってあげた人たちって、誰か紹介してあげないと申し訳ないと思ってくれるんです。ありがたいことですよ。なので、ウチはお金だけを目当てに動いている人にはあまり協力する気はないんですよ。



でも志を持っている人に対してはどんどんやってあげたいのです。そういう人はちゃんと感謝の気持ちを持っているし、感謝って向こうが感謝して何か行動したらこっちも感謝する、感謝の循環が起きてすごくいいじゃないですか。その循環が起きるとそれがさらに波及して、他の人も巻き込んでくれるんです。そういう人のビジネスが立ち上がれば絶対世の中のためになるので、そういう人を応援することが世の中を応援することになるじゃないですか。ウチがやっている社会貢献って、社会貢献をやろうとしている人たちを応援する社会貢献なのです。

#### 踏み出した独立、受け入れてくれた社長への恩

—どうして独立されようと思ったのですか？

**鮫島**：前職はベンチャーキャピタルにいたんですよ。ベンチャーのスタートアップを支援するチームに。そこでも新しい事業の立ち上げをやっていて、ベンチャーの支援を社外 CTO みたいな感じで行くんですね。楽しいですよ！これが。なんですけど…自分の使命、志と違うのですよ。楽しいし熱中するのだけど、途中で自分が本当にやりたいことがわかんなくなりました。

⇒⇒⇒裏面に続く

ちょうどその時、会社の方向性がシステムで言うとオンプレミスから完全にクラウドに変えようってなったんです。それで既存の私のお客さんでオンプレミスの方は私が引き取りますよって、独立したんです。ベンチャーキャピタルにいて色々な仕事に携わらせてもらったのですが、どれもピンと来るものなかったんですよ。数年いてもわからないのだからずっといてもわからない、じゃあもう環境を変えるしかないって独立したんです。立場上、スタートアップに対して「これやりたいって言うのがないと路頭に迷うよ」って平気で言っていたくせに、その路頭に迷うようなことを自分はやったんです（笑）。そして、売上見込みがある状態で独立させてくれた前の社長には足を向けて寝られないですね。今でも前の会社経由で受けている仕事はいくつかあって毎年恩返ししています。



### 「みんなが仕事で輝けるように」

#### 独立して見つけた志

—その後、ご自身の志は見つけられたのでしょうか。

**鮫島:** 独立してから自分の志が見えるまで3年はかかりました。思ったのは、人生のうちの3分の1は確実に仕事じゃないですか。例えば家族との関係がめちゃくちゃ良くって輝いています、でも仕事は面白くない。これ損していますよね。子どもにとっても親が仕事に希望を持って前向きに働いていたら絶対世の中良くなるって思うじゃないですか。自己実現のために仕事を機能させる、私はそれをさせてあげたいんです。志を言葉にするなら、「みんなを輝かせること」なんですよ。それぞれのビジネスでみんなが輝いていくこと。今やっている仕事が自分にとってどんなにつまらない仕事だと思ったとしても、楽しくすることはできるはずなのです。本当はこう言うことを事業化したいんだけどできない、という人にITの領域で力を貸してあげたいと思っています。

自分が本当にやりたいことって、ビジネスにできる人とできない人がいるだけで全員持っていると思うんです。↗

ビジネスにできない人たちがビジネスにできるように、その中でせめて自分が喜びを感じられるくらいの収入を得られるにしてあげたいのです。それができたら自然といい世の中になりますよ。そのやりたいことも、単純に欲しい物なのか、志のやりたいことなのかで違うじゃないですか。物を欲しがっちゃうとそれを手に入れたら終わっちゃう。それよりも何故それを手に入れたいかですよ。その理由や志に宝物が埋まっているものだと思います。

### もう頼られなくていいくらい、 誰もが自分で前へ進める世の中に

—最後に今後の展望を教えてください。

方向性としては、すでに商材を持っているけれどネットをうまく使えない人たちに、販売の支援、ECの使い方とか、オンラインサロンみたいなものを用意するサービスを立ち上げようかなというのがあります。IT方面の顧問契約みたいなことを始めているんです。それが月1万円からなんです（笑）。まず「答えられない」という返事はしないっていう約束のもとにやっています。わかんなかったらこっちが調べてその答えを返す。少しでも前に進んで欲しいですからね。ITが理由でその人の事業が進まないっていうのはこっちとしては耐えられないのです。「訊けよ！」って思っちゃう。言ってみれば『ITなんでも質問箱』ですね。

私が望む世界は、鮫島に頼んでもこんな程度しかできないから自分でやった方がいいよっていう風にみんなが思えるようになることですね。それだけみんなが自分で進んでいけるってことです。「もう聞く必要ないよ、でも話すと面白いから時々話そう」、くらいな感じ（笑）。それが最高ですよ！自分の会社もそれが夢です。「社長に言ったってしょうがないから俺たちでやろうよ」って。それで時々ご飯行って愚痴とか希望を聞くだけみたいな。社長と一緒にご飯食べにいくと美味しいモノ食わしてくれるからとか、それもいいですね。

インタビュアー：岡崎智紀

### 編集後記

始めたいけど、どうやったらいいんだろう？そんな壁は多くの方がぶつかる問題ですよ。今の時代、確実に必要になってくるITの分野で、立ち止まってしまう人たちに力を貸してあげたい、違う景色を見てほしい。志ある人の自己実現を願う鮫島さんの情熱には胸を打たれます。ご自身が志に向かって独立を果たした鮫島さんだからこそのエネルギーは「あ、この人に頼ろう」と思わせてくれます。